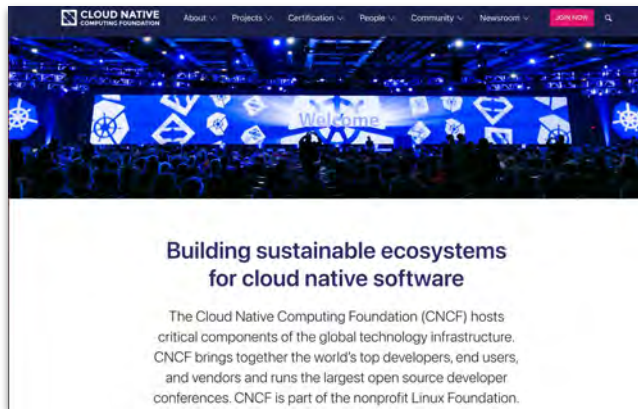


次期テストベッドに望むことCloud Native Network Testbed

下條真司
大阪大学

Cloud Native Architectureとは

「クラウドネイティブ技術は、[パブリッククラウド](#)、[プライベートクラウド](#)、ハイブリッドクラウドなどの近代的でダイナミックな環境において、スケーラブルなアプリケーションを構築および実行するための能力を組織にもたらします。このアプローチの代表例に、コンテナ、サービスメッシュ、マイクロサービス、イミュダブルインフラストラクチャ、および宣言型APIがあります。(CNCF Cloud Native Definition v1.0) ([「クラウドネイティブ」とはなにか —「クラウドファースト」とな何が違うのか?](#))

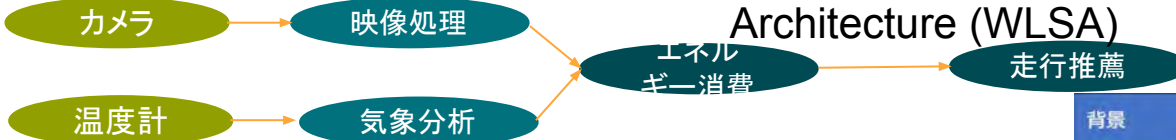


- Cloud Native Computing Foundationにより推進
- クラウドのもたらすアジリティ、スケーラビリティ
- Kubernetes, calico, ISTIOなど様々なオープンプラットフォーム群から構成される。
- githubなどを用いたオープンな開発
- 宣言型API: アプリケーションを含めて、システムはこうあるべきという姿に近づける

WoT-based Logical Sensor Architecture (WLSA)

論理的表現

WOT+beam

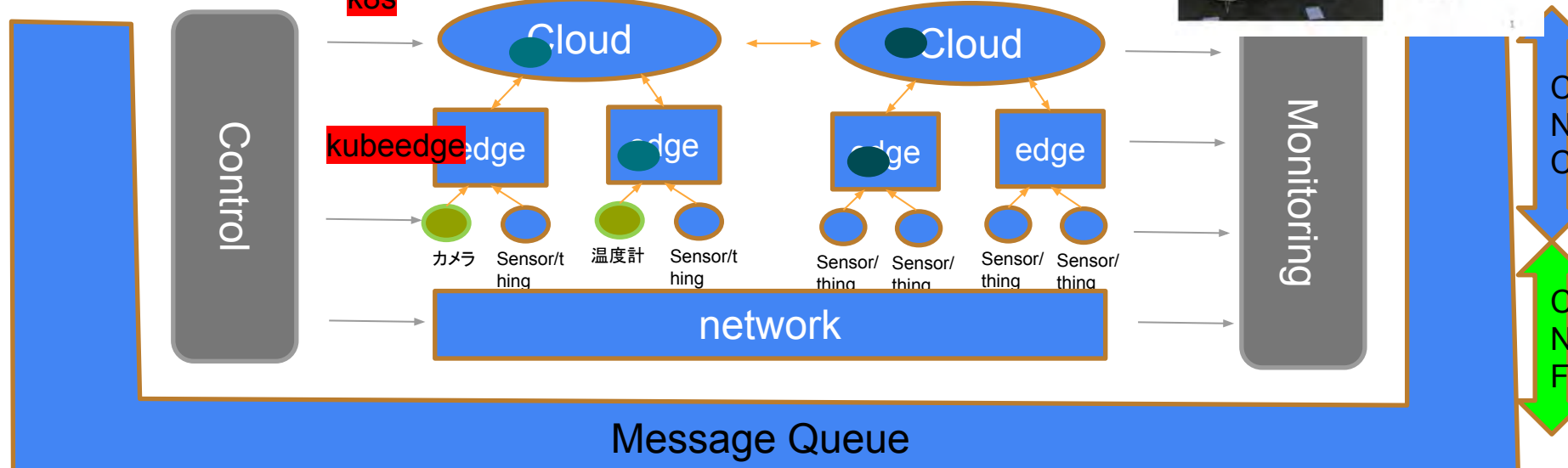


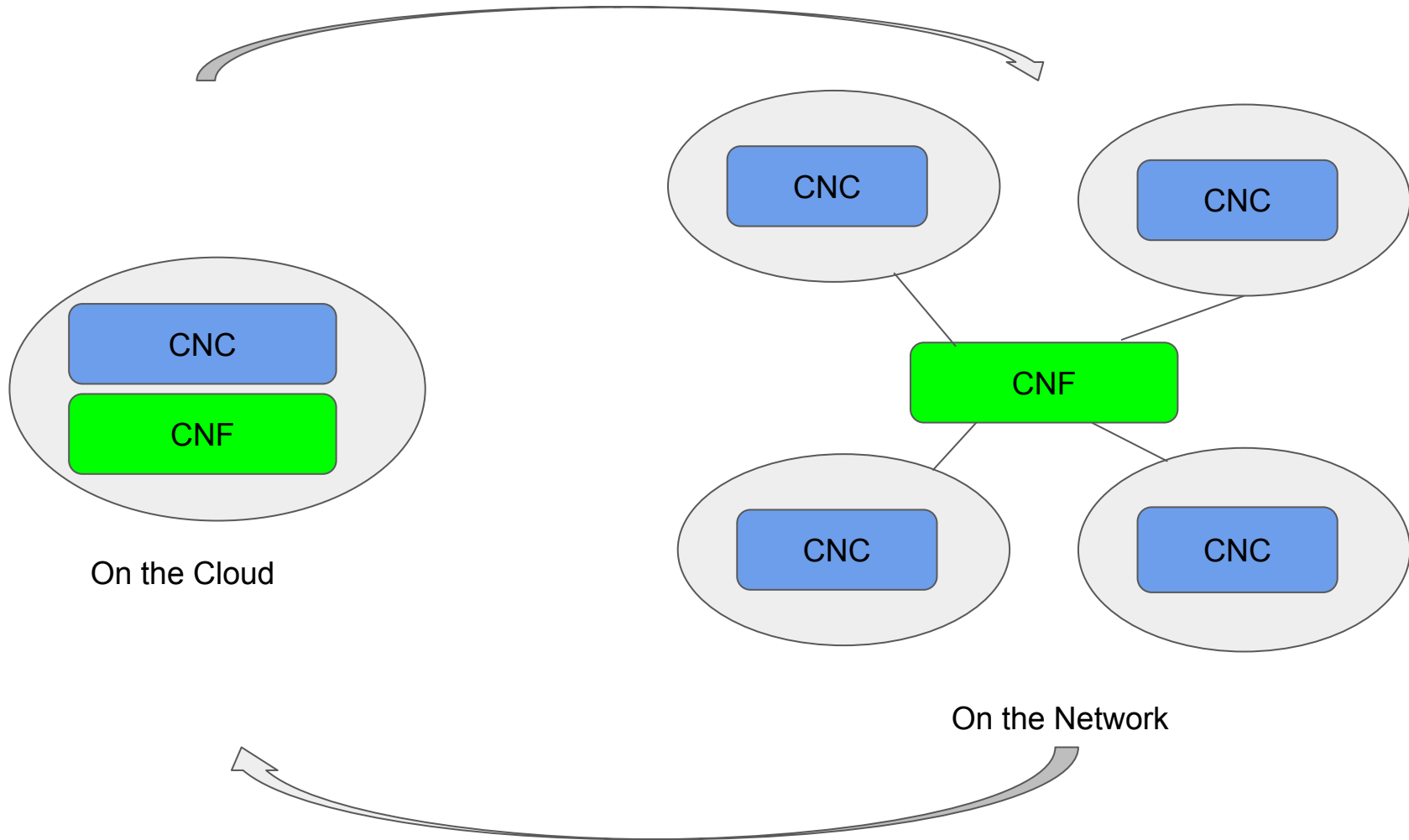
D-plane

MaaS Infrastructure



C-plane





次期テストベッドに望むこと

物理テストベッドへ展開可能なクラウドプラットフォーム

CNFのマルチテナント化

CNFとCNCのHappy Marriage

CNFへの国際標準化貢献

